

省エネ型ガス機器契約

(選択約款)

平成29年5月1日実施

旭川ガス株式会社

(江別地区)

目 次

1. この選択約款の変更.....	1
2. 用語の定義.....	1
3. 適用条件.....	2
4. 契約の締結.....	2
5. 使用量の算定.....	2
6. 料 金.....	3
7. 単位料金の調整.....	3
8. 設置確認.....	4
9. その他.....	4
付 則.....	5
この選択約款の実施期日.....	5
別 表	
省エネ型ガス機器契約に適用する料金表.....	6

1. この選択約款の変更

- (1) 当社は、この選択約款を変更することがあります。この場合には、お客さまとのガス料金その他の供給条件は、変更後のこの選択約款によるものとし、(3)及び(4)のとおり、変更された契約条件の説明、書面交付等を行います。
- (2) お客さまは、(1)に定めるこの選択約款の変更に関する異議がある場合は、この選択約款による契約を解約することができます。
- (3) この選択約款の変更に伴い、供給条件の説明、契約締結前の書面交付及び契約締結後の書面交付を、以下のとおり行うことについてあらかじめ承諾していただきます。ただし、(4)に定める場合を除きます。
 - ① 供給条件の説明及び契約変更前の書面交付を行う場合は、書面の交付、インターネット上での開示又は電子メールの送信その他当社が適当と判断した方法(以下「当社が適当と判断した方法」といいます。)により行い、説明及び記載を要する事項のうち当該変更をしようとする事項のみを説明し、記載します。
 - ② 契約変更後の書面交付を行う場合は、当社が適当と判断した方法により行い、当社の名称及び住所、契約年月日、当該変更をした事項ならびに供給地点特定番号を記載します。
- (4) この選択約款の変更が、法令の制定又は改廃に伴い当然必要とされる形式的な変更、ガス工事に関する費用負担以外の条件の変更等、その他のガス小売供給に係る条件の実質的な変更を伴わない場合には、供給条件の説明及び契約変更前の書面交付については、説明を要する事項のうち当該変更をしようとする事項の概要のみを書面を交付することなく説明すること及び契約変更後の書面交付をしないことについて、あらかじめ承諾していただきます。

2. 用語の定義

この定めにおいて使用する用語の定義は、次のとおりです。

—省エネ型ガス機器—

- (1) 「省エネ型ガス機器」…「排熱利用型給湯暖房機」、「排熱利用型温水暖房機」、「排熱利用型給湯器」または「床暖房機能付輻射暖房機」をいいます。

—排熱利用型給湯暖房機—

- (2) 「排熱利用型給湯暖房機」…エネルギー源にガスを使用する消費機器のうち、次のすべての要件を満たすものをいいます。
 - ① 温水を循環させ暖房するとともに給湯もできる機能を有する熱源機であること。
 - ② 潜熱を回収するための熱交換器を有すること。

—排熱利用型温水暖房機—

- (3) 「排熱利用型温水暖房機」…エネルギー源にガスを使用する温水暖房機のうち、潜熱を回収するための熱交換器を有するものをいいます。

—排熱利用型給湯器—

- (4) 「排熱利用型給湯器」…エネルギー源にガスを使用する温水給湯器のうち、潜熱を回収するための熱交換器を有するものをいいます。

—床暖房機能付輻射暖房機—

- (5) 「床暖房機能付輻射暖房機」…エネルギー源にガスを使用する輻射暖房機のうち、燃焼排熱から床暖房用温水をつくる機能を有するものをいいます。

－その他の定義－

- (6) 「消費税等相当額」…消費税法の規定により課される消費税及び地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (7) 「消費税率」…消費税法の規定に基づく税率に地方税法の規定に基づく税率を加えた値をいいます。なお、この選択約款においては8パーセントといたします。
- (8) 「単位料金」…7に定める基準単位料金又は調整単位料金をいいます。

3. 適用条件

この選択約款は、次のすべての条件を満たし、お客さまがこの選択約款の適用を希望される場合に適用いたします。

- ① 省エネ型ガス機器を使用すること。
- ② 同一需要場所におけるガス使用量を1個のガスメーターで計量すること。
- ③ ガスメーターの能力が10立方メートル毎時以下であること。

4. 契約の締結

- (1) お客さまは、新たにこの選択約款に基づきガスの使用を申し込む場合又はその後の契約更新に際し契約内容を変更しようとする場合には、当社と契約していただきます。
- (2) 契約期間は次のとおりといたします。
 - ① 新たにガスの使用を開始した場合の契約期間は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
 - ② 契約種別を変更した場合は、変更後の契約期間は、契約種別の変更の日の翌日からその変更の日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
 - ③ 契約期間満了時において当社とお客さまの双方が契約内容について異議のない場合には、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日まで同一条件で継続するものとし、以降も同様といたします。
- (3) 本契約の契約期間満了前に解約又は一般ガス供給約款に定める料金への変更をしたお客さまが、再度同一需要場所で本契約の申し込みをする場合、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日又は契約種別の変更の日から1年に満たない場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更又は建物の改築等のための一時不使用による解約又は契約種別の変更の場合はこの限りではありません（(4)において同じ）。
- (4) 本契約の契約期間満了前に他の契約種別（一般ガス供給約款に定める料金を除きます。）への変更を申し込まれた場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。

5. 使用量の算定

当社は、当社(導管部門)より通知を受けた使用量をお客さまへ通知いたします。

当社は、当社(導管部門)による前回の検針日及び今回の検針日におけるガスメーターの読みにより、その料金算定期間の使用量を算定いたします。

6. 料 金

－料金の種類－

- (1) お客さまは、お支払いの時期により、(2)に定める早収料金又は(5)に定める遅収料金のいずれかを選択していただくことができます。

－早収料金－

- (2) 当社は、料金の支払いが支払義務発生日の翌日から起算して1か月以内(以下「早収料金適用期間」といいます。)に行われる場合には、(4)の規定により算定された料金(以下「早収料金」といい、消費税等相当額を含みます。)を支払っていただきます。

なお、早収料金適用期間の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早収料金適用期間を延長いたします。

- (3) 当社は、口座振替により料金のお支払いをいただいているお客さまについて、当社の都合により、料金を早収料金適用期間経過後にお客さまの口座から引き落としした場合は、早収料金適用期間内にお支払いがあったものとします。

－早収料金の算定方法及び料金算定期間－

- (4) 当社は、別表の料金表を適用して、早収料金を算定いたします。

－遅収料金－

- (5) 料金の支払いが早収料金適用期間経過後に行われる場合には、早収料金を3パーセント割り増ししたもの(以下「遅収料金」といい、消費税等相当額を含みます。)を料金として支払っていただきます。

－端数処理－

- (6) 当社は、早収料金及び遅収料金について、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数を切り捨てます。

7. 単位料金の調整

- (1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回り又は下回る場合は、次の算定式により別表の各料金表の基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して早収料金を算定いたします。なお、調整単位料金の適用基準は、別表2(3)のとおりといたします。

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金(1立方メートル当たり)

$$= \text{基準単位料金} + 0.084 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金(1立方メートル当たり)

$$= \text{基準単位料金} - 0.084 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

(備 考)

上記の算定式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨てます。

- (2) (1)の基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格(トン当たり)

58,680円

② 平均原料価格(トン当たり)

別表2(3)に定められた各3ヶ月間における貿易統計の数量及び価額から算定したトン当たりLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し、10円単位といたします。)及びトン当たりプロパン平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し、10円単位といたします。)をもとに次の算定式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。

ただし、その金額が93,880円以上となった場合は、93,880円といたします。

(算定式)

平均原料価格
＝トン当たりLNG平均価格×0.9503＋トン当たりプロパン平均価格×0.0546

(備考)

トン当たりLNG平均価格及びトン当たりプロパン平均価格は、当社の支社に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算定式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

(算定式)

- イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
原料価格変動額＝平均原料価格－基準平均原料価格
- ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき
原料価格変動額＝基準平均原料価格－平均原料価格

8. 設置確認

(1) 当社は、省エネ型ガス機器が設置されているかどうかを確認させていただく場合があります。この場合には、正当な理由がない限り、その場所への立ち入りを承諾していただきます。

万一、立ち入りを承諾していただけない場合、当社は、この選択約款の申込みを承諾しない、又は速やかにこの選択約款に基づく契約を解約し、解約日以降一般ガス供給約款を適用いたします。

(2) お客さまが、省エネ型ガス機器を取り外した場合は、ただちにその旨を当社に連絡していただきます。

なお、省エネ型ガス機器を取り外した場合は、この選択約款に基づく契約を解約したものといたします。

9. その他

その他の事項については、一般ガス供給約款(江別地区)を適用いたします。

付 則

この選択約款の実施期日

この選択約款は、平成29年5月1日から実施いたします。

(別 表)

省エネ型ガス機器契約に適用する料金表

1. 適用区分

料金表A 使用量が0立方メートルから40立方メートルまでの場合に適用いたします。

料金表B 使用量が40立方メートルを超え、133立方メートルまでの場合に適用いたします。

料金表C 使用量が133立方メートルを超える場合に適用いたします。

2. 早収料金の算定方法

- (1) 早収料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
- (2) 従量料金は、基準単位料金又は7の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
- (3) 調整単位料金の適用基準は、次のとおりといたします。
 - ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日（うるう年は2月29日）に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

(4) 早収料金及び遅収料金に含まれる消費税等相当額は、それぞれ次の算定式により算定いたします
(小数点以下の端数切捨て)。

①早収料金に含まれる消費税等相当額＝早収料金×消費税率÷(1+消費税率)

②遅収料金に含まれる消費税等相当額＝遅収料金×消費税率÷(1+消費税率)

3. 料金表A (消費税等相当額を含みます。)

(1) 基本料金

1ヶ月及びガスメーター1個につき	1,944.00円
------------------	-----------

(2) 基準単位料金

1立方メートルにつき	139.88円
------------	---------

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに7の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

4. 料金表B (消費税等相当額を含みます。)

(1) 基本料金

1ヶ月及びガスメーター1個につき	3,024.00円
------------------	-----------

(2) 基準単位料金

1立方メートルにつき	113.48円
------------	---------

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに7の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

5. 料金表C (消費税等相当額を含みます。)

(1) 基本料金

1ヶ月及びガスメーター1個につき	5,832.00円
------------------	-----------

(2) 基準単位料金

1立方メートルにつき	92.38円
------------	--------

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに7の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。